

GAVI INFUSE: 予防接種への理解と接種 規模の拡大、そして平等 な機会のための イノベーション

すべての子どもにヘルスケアを届けるためのインフラ整備を途上国で実現するには、革新的な解決策が不可欠です。



イノベーションギャップ

多くの途上国では、ワクチンを届けるのに時代遅れのテクノロジーとシステムに頼っているため、イノベーションへの関心は尽きることがありません。しかし、イノベーターと呼ばれる人々はイノベーションに対する需要を集約し、最新の解決策を実現するための資金集めに苦労しています。**これは市場が機能していないことを意味します。**

需要側、特に政府は、近代化のためになじみのない機材に投資しなくてはなりません。適切な技術を選択するのは困難です。一方供給側、つまりイノベーターは新製品をスケールアップして全国レベルに展開するノウハウを持っているものの、政府内の意志決定者とのネットワークを持たないことがしばしばです。

“

私たちは予防接種の近代化を実現します。
INFUSEの目的とはそのプロセスをスピードアップさせることです。”

セス・バークレー博士
GaviアライアンスCEO

GAVI INFUSEの基本方針

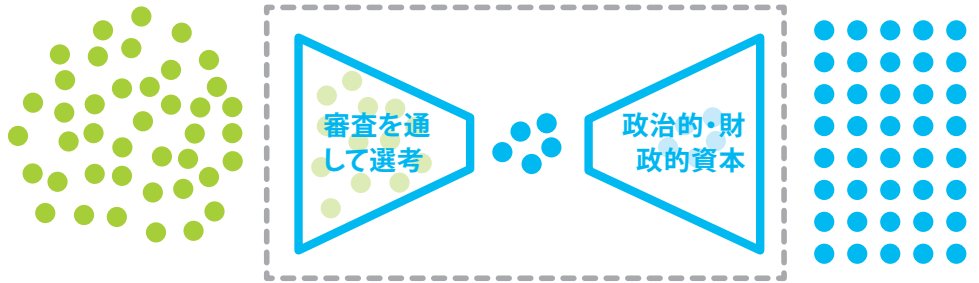
Gaviワクチンアライアンスは、十分な試験を経たイノベーションを、それを最も必要としている国に導入するプラットフォームを構築し、市場の機能不全の問題に取り組んでいます。

予防接種への理解と接種規模の拡大、そして予防接種への平等なアクセスのためのイノベーション (INFUSE: Innovation for Uptake, Scale and Equity in Immunisation) の目的は、スケールアップして実施すれば世界的な保健システムの近代化実現に大きな可能性を持つ立証済みの解決策を特定することです。Gaviはパートナーとともに選りすぐりのイノベーションをスケールアップするための資金と専門知識を「INFUSE (吹き込み)」ます。

INFUSEは2016年のダボス会議 (世界経済フォーラム) において発足しました。この会議では毎年、政府、企業、イノベーションの各分野のリーダーが一堂に会します。ワクチンアライアンスのパートナーの専門知識を生かして、大きなインパクトを持つイノベーションにより多くの国がアクセスできるよう協議する場なのです。さらに自国のヘルスケアの近代化に向け、途上国および新興国市場への新しいテクノロジーの導入を加速させています。

INFUSEの仕組み

INFUSEの審査担当者が立証済みのイノベーションを特定し、それをスケールアップした場合に予防接種を更に推進する可能性があるかどうか見極めます。その後、そのイノベーションと民間部門のパートナー、途上国政府や支援国を結びつけ、スケールアップのための最善策を構築します。



挑戦するに値する保健分野のイノベーション（テストケース）の立証済みコンセプト

最も成功する可能性を持つ立証済みコンセプトを審査によって特定

特定されたコンセプトの選抜

選抜されたコンセプトに対しパートナーとのマッチングを進めるための政治的・財政的支援へのアクセスを授与

世界的なインパクトを及ぼすためのパートナーシップの構築

INFUSE

2016年の審査担当:

アショカ財団、FSG、IBM、国際電気通信連合、Mezzanine、PATH、フィリップス、国連児童基金（UNICEF）、米疾病対策センター（CDC）、UPS基金、ボーダフォン・グローバル・エンタープライズ、世界経済フォーラム、世界保健機関（WHO）、ジップライン

INFUSEペースセッター

発足の年にINFUSEの審査担当者は、ワクチンアライアンスが支援すべき最も将来性のある7つのイノベーションを選抜しました。最初の“ペースセッター”たちはデータの可用性と質、活用を向上させる革新的な解決策を提供します。この解決策をスケールアップさせれば、ワクチンの提供を劇的に推進できるはずです。

Energize the Chain

Rerouting Power. Reshaping Health.

Energize the Chain（エナジャイズ・ザ・チェーン）は、離れた場所にある携帯電話の基地局を活用してワクチンの低温流通システム（コールドチェーン）用インフラの電源を確保し、システムを拡大します。



AKROS（アクロス）はワクチンの在庫管理と連携し、患者に使用できる在庫分について自動SMSリマインダーを送信する電子式の予防接種登録システムを開発しました。



IRDは携帯電話とオンライン地図サービスを使って現場の担当者たちの動きを把握する、革新的な追跡サービスのパイオニアです。



NEXLEAF（ネックスリーフ）のColdTrace（コールドトレース）は、ワクチンに温度によるリスクが生じた場合に、SMSメッセージのような専用の警報を送信することで、冷蔵庫の機能不全からワクチンを守ります。



BROADREACH（ブロードリーチ）は保健医療分野のデータ管理における実行可能な見識と、集約したデータから抽出した模範となる事例を提供することで、意志決定者がよい結果を出せるよう支援するプラットフォームを構築しました。



Khushi Baby（クシ・ベビー）は医療情報をネットワークに記録する革新的な予防接種登録システムを開発しました。この方式なら文化的にも適切な子ども向けの医療パスポートとなります。



SHIFO FOUNDATION（シフォ）のMyChild（マイチャイルド）システムは、遠隔地の子どもたちを電子予防接種登録することを可能にします。スマートペーパー技術を備えたシンプルな予防接種情報のブックレットを使用することで通信事情の問題が回避できるのです。

共に革新を目指しましょう

予防接種の提供範囲を拡大するため、INFUSEには公共・民間部門からの幅広い関与が必要です。

イノベーターはスケールアップ可能な立証済みのコンセプトを提案し、選抜された場合にはそのための政治的・財政的支援を得ます。

政府の指導者は、すでに検証済みの解決策にアクセスし、それに対する見識とスケールアップのために必要な支援を行います。

その他のパートナーは将来性のあるイノベーションを特定・推進するためにその専門性を提供し、同時に輝かしい起業家精神が発展するための支えとなります。

投資家は先行投資として資本を提供し、大きなインパクトを与え、高い社会的利益をもたらすイノベーションを推進します。